

あきる野市



議会だより

平成23.11.1

NO.65

発行／あきる野市議会 編集／議会報編集特別委員会 TEL 558-1111 〒197-0814 あきる野市二宮350



児童館幼児クラブのぶどう狩り（市内のぶどう農園）

第3回（9月）定例会

平成22年度決算を認定 岁出総額455億円 ... P 4

●審議結果

提出された議案を慎重に審議 P 2

●一般質問

聞いてみたいな、こんなこと（質問者17名） P 6

●市議会Question

一般質問の順番はどうやって決めているの？ P 15

本会議の模様をインターネットで配信中

くわしくはP17をご覧ください

再生紙を使用しています

平成23年9月

定例会の概要

○人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求ることについて

9月定例会は、8月30日に開会し、9月22日まで24日間の会期で行われました。

定例会初日の30日から1日までの3日間は、17名の議員による一般質問が行われました。

2日には、市長から提案のあつた議案を審議し、補正予算等の議決、議案や陳情の委員会付託が行われました。

6日には総務委員会、7日には環境建設委員会、8日には福祉文教委員会の各常任委員会が開催され、議案等の審査が行われました。

13日・14日には、決算特別委員会が開催され、平成22年度8会計についての歳入歳出決算審査が行われました。最終日の22日には、各常任委員長と決算特別委員長の委員会審査報告などを受けて、質疑・討論の後、採決が行われました。

○あきる野市固定資産評価について
○あきる野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
○あきる野市固定資産評価審査委員会委員の選任について

あきる野市固定資産評価審査委員会委員の法理規夫氏は、平成23年11月9日をもって任期満了となり、引き続き同委員に選任するため議会の同意を求めるものです。任期は平成23年11月10日から平成26年11月9日までとなります。

市長提出議案（23件）

【全会一致で原案を可決】

○あきる野市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

人権擁護委員の三上裕子氏と渡邊哲男氏は、平成23年12月31日をもって任期満了となります。三上裕子氏については引き続き人権擁護委員の候補者として推薦し、渡邊哲男氏については、後任として関田正幸氏を同委員の候補者として推薦するため、議会に意見を求めるものです。任期は法務大臣の委嘱の日から3年となります。

○あきる野市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律及び現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るために、一部を改正する法律の施行に伴い、規定を整備するものです。

○あきる野市都市計画税条例の一部を改正する条例

現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るために、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、規定を整備するものです。

○損害賠償の額を定め和解することについて
○損害賠償の額を定め和解することについて

道路設置契約の不履行について、損害賠償の額を定め和解したいので、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定に基づき、提出するものです。

【全会一致で適任と認める】

○あきる野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、規定を整備するものです。

○あきる野市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

公の施設である市民ホールの管理を指定管理者に行わせるため、規定を整備するものです。

○あきる野市テレビ共同受信施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

放送法等の一部を改正する法律の施行に伴い、規定を整備するものです。

○西秋川衛生組合規約の変更について

西秋川衛生組合への奥多摩町の加入に伴い、規約の変更をするものです。

- 平成22年度あきる野市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度あきる野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度あきる野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

平成23年度補正予算

【全会一致で原案を可決】

- 平成23年度あきる野市一般会計補正予算(第3号)
- 平成23年度あきる野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 平成23年度あきる野市介護保険特別会計補正予算(第1号)

- 平成23年度あきる野市下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成23年度あきる野市テレビ共同受信事業特別会計補正予算(第1号)

- 平成23年度あきる野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

- 平成23年度あきる野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定については下表をご覧ください。

- * 平成22年度決算に関するP4、5をご覧ください。

平成22年度決算

議員提出議案（2件）

○あきる野市選挙管理委員及び補充員の選挙

あきる野市選挙管理委員及び補充員の選挙を行ない、次の方々が指名推選により当選いたしました。
なお、任期は平成23年11月10日から平成27年11月9日までとなります。

- 小中学校へのエアコン設置の補助金の助成年度の延長を求める意見書
- 再生可能エネルギー活用推進を求める意見書

陳情（6件）

- JR秋川駅自由通路のエレベーター設置に関する陳情

- あきる野市の子ども達を放射能から守るための陳情
- 小中学校にエアコン設置を求める陳情

【審議未了】

- 都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情
- 災害時の緊急食糧として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情
- 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係わる陳情

《補充員》	
田嶋 光男 氏	(伊奈388番地3)
窪嶋 敏氏	(雨間776番地8)
千田 洋子 氏	(平沢332番地)
栗原 せつ子 氏	(乙津2047番地)
高木 八重子 氏	(野辺408番地イ号)
吉野 和子 氏	(二宮2389番地3)
高橋 徹氏	(なかはまよる)
関田 まゆみ 氏	(小中野296番地1)
山田 787番地	

平成23年度 会計別補正予算額

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第3号)	311億7846万0千円	1億5878万0千円	313億3724万0千円
特別会計 国民健康保険(第1号)	82億1873万6千円	3億7836万3千円	85億9709万9千円
介護保険(第1号)	42億2387万5千円	6896万1千円	42億9283万6千円
下水道事業(第2号)	30億7865万3千円	1653万6千円	30億9518万9千円
テレビ共同受信事業(第1号)	1億651万2千円	875万8千円	1億1527万0千円

平成22年度決算を認定

歳出総額455億円

平成22年度の8

4

会計の歳入歳出決算は、議長・監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、9月13日・14日の2日間にわたり、審査が行われました。

決算特別委員会では、活発な質疑や議論を行い、慎重な審査の結果、一般会計決算及び7件の特別会計決算をすべて認定しました。

最終日22日の本会議において、決算特別委員長の審査報告の後、各会派による討論が行われ、採決では、8会計全てが原案どおり認定されました。



本会議での採決

一般会計決算に対する討論

反対

日本共産党
あさる野市議会

税収は、給与所得が1人あたり前年比23万円減り、個人市民税が10・7%も減。年間所得200万円以下の家庭が66%と、市民のくらしは大変厳しい。企業誘致目的の土地開発公社の土地が売れず、市が31億円の借金をして買い取ったのが「郷土の恵みの森事業」の発端。この事業により、東京都から有利な借金ができるが、東京都の要望で購入した土地は東京都に買い戻させるべきである。5年後から、毎年約1億4000万円を返済する。22年度は、土地開発公社の残った金利分約1億円を補てんした。これらの失敗に学ばず、秋川高校跡地に企業誘致を計画していることはさらに問題である。

23年10月完了予定の学校の耐震化は評価するが、いまだ1台の「るのバス」など、福祉・医療・教育は後回しの感が否めない。住民の福祉の増進を図るという自治体の本旨に基づいた税金の使い方をするよう強く求め、本議案に反対する。

賛成

志清会

白井市政はこの4年間、行政力と地域力、そして地域経済力の強化へ懸命に取り組み、平成22年度では着実にその花が開いてきた。まず行政力の強化へ向け、経常収支比率が94・9%と、前年度に比べ3.8ポイント改善。市税が減収し多くの自治体が財政調整基金等の基金を大幅に取り崩し、経常収支比率を悪化させる中、本市では財政調整基金を取り崩すどころか、逆に5億5417万円の積み立てを行ったことは、大いに評価できる。また、増収に向け、入湯税の税率改正など自主財源の確保に努めた姿勢も評価できる。

地域力の強化では防災・安心地域委員会との連携のもと、地域防災計画を策定。小中学校の耐震化事業も23年度中の完了へ向け着実に推進したほか、学校以外の公共施設についても計画を前倒しして取り組む姿勢を示した点を評価する。

また地域経済力の強化では、遊休農地の活用に取り組み、国の緊急経済対策に迅速に対応し、地域の事業者の受注機会を確保したことは、地域経済の底上げに大変効果的であったと評価する。以上、志清会の賛成討論とする。

平成22年度 岁入歳出決算額

会計別	予算現額	歳入総額	歳出総額	差引残額(翌年度繰越)
一般会計	298億9848万6000円	295億5452万4008円	289億7212万3025円	5億8240万983円
特別会計	国民健康保険	83億3843万1000円	86億852万5609円	3億8137万8355円
	老人保健	1065万9000円	663万3465円	0円
	後期高齢者医療	13億2088万6000円	13億1953万6150円	5612万9591円
	介護保険	40億1524万8000円	39億9865万423円	6048万5867円
	戸倉財産区	1336万2000円	1276万3406円	306万4675円
	下水道事業	29億4884万1000円	29億7921万8408円	5851万1043円
テレビ共同受信事業		3億930万6000円	2億5269万4970円	786万8264円
合計	468億5521万9000円	467億3254万6439円	455億8270万7661円	11億4983万8778円

賛成

政和会

昨年3月に可決した

予算を概ね忠実に執行されたものと理解した。

当市は財政が極めて厳しい中で限られた予算を有効に配分し、肅々と執行してきた職員の努力を評価し、執行責任者の市長をはじめ市長部局理事者に以下の意見を附して「平成22年度あきる野市一般会計歳入歳出決算」を認定する。

歳入歳出決算は、市税の減収は大きな痛手であるが、多摩26市でも高い水準の徴収努力は評価できる。

歳出における一部の伸びは、子ども手当の創設や生活保護費、私立保育所運営費など扶助費の増、財政調整基金の積立て増が要因と理解する。

主な事業としては、住宅への太陽光発電等の設置に対する補助金や私立保育園整備事業補助による定員増、増戸中の耐震化が完了する。また、本年小中学校の耐震補強工事が完了することは、市民にとって大きな安心材料になると進展とともに需用額は高揚していく。

今後は、各種財政指標の改善のみを視野に入れた財政運営で市民サービスの低下や市民の安寧感を損なうことのないように、自己財源の確保に最大限の努力を図られたい。

賛成

公明党

経常収支比率が94・9%とその他の財政指標も含めて改善が進んでおり、行財政改革を着実に推進してきた成果と評価する。

歳入は、厳しい雇用・経済情勢により市税の減少が続いている、全体の3割を占める市税の減収は大きな痛手であるが、多摩26市でも高い水準の徴収努力は評価できる。

歳出における一部の伸びは、子ども手当の創設や生活保護費、私立保育所運営費など扶助費の増、財政調整基金の積立て増が要因と理解する。

主な事業としては、住宅への太陽光発電等の設置に対する補助金や私立保育園整備事業補助による定員増、増戸中の耐震化が完了する。また、本年小中学校の耐震補強工事が完了することは、市民にとって大きな安心材料になると進展とともに需用額は高揚していく。

今後は、各種財政指標の改善のみを視野に入れた財政運営で市民サービスの低下や市民の安寧感を損なうことのないように、自己財源の確保に最大限の努力を図られたい。

賛成

新風会

平成23年3月11日の東日本大震災の影響や、過去に類を見ない激

く降りかかっている。白井市においては行政改革に取り組まれ、社会保障関係経費が飛躍的に伸びる中、多様化するニーズに応えながら、この4年間着実な行政運営を行われたことを高く評価する。歳入の根幹を成す市税は、景気の低迷による給与所得の減少等により4%の大額な減少となつたが、財政調整基金は5億5417万円の積み立てを行い、将来的には基準財政需要額の10%まで増やすとの方針も示された。歳出では小・中学校の耐震補強工事が実施され来月には全ての小・中学校の耐震化が完了する。また、郷土の恵みの森構想では全国市町村初の森林レンジャーの創設等先駆的な取り組みを推進した。さらに防災・防犯対策の充実を図り、高齢化が進む中、高齢者見守り事業を市民と協働のまちづくりのひととして始めた。教育施策では来年、小宮小学校と五日市小学校が統合される事となつた。引き続き着実な市政運営を期待し賛成討論とする。

賛成

民主党

歳入の執行率は98・8%、歳出の執行率は96・9%とほぼ妥当な数値と言える。ただ、単年度

歳入では、9月補正で市民税3億7400万円を減額したが、税は重要な財源であり当初予算見積りに疑問が残る。的確な計上に注意すべきだ。

歳出では、小中学校校舎等の耐震化工事が順調に執行されたことは評価したい。ただし工事契約差金が小中学校を併せ、2億6千万円と大きな額となつた。予算額と契約額が近いものとなるよう努力を望む。

その他では、予算流用等を極力少なくすべきである。議会で議決した予算の目的と異なる支出に充てるものとなり慎重にすべきである。以上、何点か指摘したが概ね妥当な予算執行と認め、認定に賛成する。